

製品安全データシート

1. 化学物質等及び会社情報

化学物質等の名称	アイヤーエース
製品コード	AK7101J
会社名	アグロ カネショウ株式会社
住所	〒107-0052 東京都港区赤坂4-2-19 赤坂シヤスタース7F
電話番号	03-5570-4711 (所沢事業所:04-2003-7006)
緊急時の電話番号	同上
FAX番号	03-5570-4708 (所沢事業所:04-2003-7302)
メールアドレス	toiawase@agrokanesho.co.jp
推奨用途及び使用上の制限	農薬(展着剤)

2. 危険有害性の要約

GHS分類

物理化学的危険性	引火性液体	区分2
	自然発火性液体	区分外
健康に対する有害性	急性毒性(経口)	区分外
	急性毒性(経皮)	区分外
	皮膚腐食性・刺激性	区分2
	眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	区分外
	皮膚感作性	区分外
	生殖毒性	区分2
	特定標的臓器/全身毒性(単回暴露)	区分1(腎臓、全身毒性、中枢神経系) 区分3(気道刺激性、麻酔作用)
環境に対する有害性	特定標的臓器/全身毒性(反復暴露)	区分2(肝臓、脾臓、血管)
	水生環境急性有害性	区分3
	水生環境慢性有害性	区分3

※記載がないものは「分類対象外」または「分類できない」

絵表示又はシンボル



注意喚起語

危険有害性情報

危険

H225 引火性の高い液体および蒸気
 H315 皮膚刺激
 H361 生殖能または胎児への悪影響のおそれの疑い
 H370 腎臓、中枢神経系の障害
 H335+H336 呼吸器への刺激のおそれ、または、眠気またはめまいのおそれ
 H373 長期にわたるまたは反復暴露による肝臓、脾臓、血管の障害のおそれ
 H402 水生生物に有害
 H412 長期的影響により水生生物に有害

注意書き

【安全対策】

火花、裸火のもののような着火源から遠ざけること。－禁煙。
(P210)

容器を密閉しておくこと。(P233)

容器を接地すること。(P240)

防爆型の電気機器を使用すること。(P241)

火災を発生しない工具を使用すること。(P242)

静電気放電に対する予防措置を講ずること。(P243)

保護手袋／保護眼鏡／保護面を着用すること。(P280)

使用前に取扱説明書入手すること。(P201)

すべての安全注意を読み理解するまで取扱わないこと。
(P202)

ミスト、蒸気、スプレーを吸入しないこと。(P260)

取扱い後はよく洗うこと。(P264)

この製品を使用する時に、飲食または喫煙をしないこと。
(P270)

屋外または換気の良い場所でのみ使用すること。(P271)

気分が悪い時は、医師の手当てを受けること。(P314)

必要な時以外は、環境への放出を避けること。(P273)

【応急措置】

皮膚についた場合：多量の水と石鹼で洗うこと。(P302+P352)

皮膚刺激が生じた場合：医師の診断／手当てを受けること。
(P332+P313)

汚染された衣類を脱ぎ、再使用する場合には洗濯すること。
(P362)

皮膚(または毛)にかかった場合：直ちに、汚染された衣類をすべて脱ぐこと。皮膚をシャワーで洗うこと。(P303+P361+P353)

暴露または暴露の懸念がある場合：医師の診断／手当てを受けること。(P308+P313)

吸入した場合：空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。(P304+P340)

気分が悪い時は、医師に連絡すること。(P312)

【保管】

換気の良い場所で保管すること。涼しいところに置くこと。
(P403+P235)

容器を密閉しておくこと。(P233)

施錠して保管すること。(P405)

【廃棄】

内容物、容器を都道府県知事／市町村の規則に従って、適切に廃棄すること。(P501)

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別

混合物

成分及び含有量

[有効成分]

化学名又は一般名

ポリオキシエチレンアルキルエーテル

CAS番号:

9043-30-5

官報公示整理番号

化審法: -

(化審法・安衛法)

安衛法: -

濃度又は濃度範囲

10%

[その他の成分1]	
化学名又は一般名	イソプロピルアルコール
CAS番号:	67-63-0
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法: (2)-207 安衛法: -
濃度又は濃度範囲	35%
[その他の成分2]	
化学名又は一般名	芳香族炭化水素
CAS番号:	64742-94-5
官報公示整理番号 (化審法・安衛法)	化審法: (9)-1691 安衛法: -
濃度又は濃度範囲	5%
[その他の成分3]	
化学名又は一般名	水、有機溶剤等
濃度又は濃度範囲	50%

4. 応急措置

吸入した場合	被災者を新鮮な空気のある場所に移動し、呼吸しやすい姿勢で休息させ、医師の診断、手当てを受けさせること。
皮膚に付着した場合	汚染された衣類を取り除き、石鹼と多量の水で洗い流すこと。皮膚刺激又は発疹が生じた場合は、医師の診断、手当てを受けること。
目に入った場合	直ちに水で数分間注意深く洗うこと。次に、コンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外し、その後も洗浄を続けること。目の刺激が続く場合は、医師の診断、手当てを受けること。
飲み込んだ場合	無理に吐かせないで直ちに医師の診断、手当てを受けさせること。

5. 火災時の措置

消火剤	水噴霧、泡消火剤、粉末消火剤、炭酸ガス、乾燥砂類
使ってはならない消火剤	棒状放水
特有の危険有害性	火災によって刺激性、腐食性及び/又は毒性のガスを発生するおそれがある。
特有の消火方法	危険でなければ火災区域から容器を移動する。消火後も、大量の水を用いて十分に容器を冷却する。
消火を行う者の保護	消火作業の際は、適切な空気呼吸器、化学用保護衣を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置	屋内の場合、処理が終わるまで十分に換気を行う。漏出した場所の周辺に、ロープを張るなどして関係者以外の立入を禁止する。作業者は適切な保護具(『8. ばく露防止措置及び保護措置』の項を参照)を着用し、飛沫等が皮膚に付着したり、粉塵等を吸入しないようにする。風上から作業し、風下の人を待避させる。
環境に対する注意事項	流出した製品が河川等へ排出され、環境への影響を

封じ込め及び浄化方法・機材
 起こさないように注意する。
 回収後の少量の残留分は土砂またはおがくず等に吸収させる。
 漏出物を直接に河川や下水に流してはならない。

7. 取扱い及び保管上の注意

<p>取扱い</p> <p>技術的対策</p> <p>局所排気・全体換気</p> <p>注意事項</p> <p>安全取扱い注意事項</p>	<p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の設備対策を行い、保護具を着用する。</p> <p>『8. ばく露防止及び保護措置』に記載の局所排気、全体換気を行う。</p> <p>みだりにエアロゾルが発生しないように取り扱う。</p> <p>屋外または換気の良い場所で取り扱うこと。</p> <p>粉塵等を吸入しないこと。</p> <p>眼、皮膚、衣類に付けないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p>
<p>保管</p> <p>保管条件</p> <p>容器包装材料</p>	<p>直射日光を避け、換気の良い冷暗所に保管する。</p> <p>施錠して保管すること。</p> <p>ポリエチレン瓶</p>

8. ばく露防止及び保護措置

<p>設備対策</p>	<p>ミストや蒸気が発生する場合、局所排気装置を設置すること。</p>
<p>管理濃度</p> <p>許容濃度(ばく露限界値、生物学的ばく露指標)</p>	<p>イソプロパノール 200ppm</p> <p>日本産業衛生学会(2009年度版)</p> <p>イソプロパノール 400ppm</p> <p>ACGIH(2009年度版)</p> <p>イソプロパノール 200ppm(TLV-TWA)</p>
<p>保護具</p> <p>呼吸器の保護具</p> <p>手の保護具</p> <p>眼の保護具</p> <p>皮膚及び身体の保護具</p>	<p>適切な呼吸器保護具(保護マスク)を着用すること。</p> <p>適切な保護手袋(不浸透性手袋)を着用すること。</p> <p>適切な眼の保護具(ゴーグル型保護眼鏡)を着用すること。</p> <p>適切な保護衣(耐薬品性エプロン等)を着用すること。</p>
<p>衛生対策</p>	<p>この製品を使用する時に、飲食又は喫煙をしないこと。</p> <p>取扱い後はよく手を洗うこと。</p> <p>汚染された作業衣は作業場から出さないこと。</p>

9. 物理的及び化学的性質

<p>物理的状态</p> <p>形状</p> <p>色</p> <p>pH</p> <p>比重(密度)</p> <p>引火点</p>	<p>液体</p> <p>無色</p> <p>4.29(20%水溶液)</p> <p>0.91(20℃)</p> <p>22.1℃</p>
--	---

10. 安定性及び反応性

<p>安定性</p> <p>危険有害反応可能性</p> <p>避けるべき条件</p> <p>混触危険物質</p> <p>危険有害な分解生成物</p>	<p>通常の条件下では安定。</p> <p>通常の条件下では安定。</p> <p>データなし</p> <p>データなし</p> <p>通常の条件下では生成しない。</p> <p>加熱や燃焼により分解し、有害ガスを発生するおそれがある。</p>
--	---

11. 有害性情報

急性毒性 経口	ラット経口LD50 >2000 mg/kgに基づき、区分外とした。
経皮	ラット経皮LD50 >2000 mg/kgに基づき、区分外とした。
皮膚腐食性・刺激性	24、48、72時間後における2匹の紅班、痂皮、浮腫の平均評点及び、14日後に落屑が認められたことから区分2に分類した。
眼に対する重篤な損傷・刺激性	24、48、72時間後における2匹の平均評点から区分外とした。
呼吸器感受性又は皮膚感受性	皮膚感受性： モルモットにおいて皮膚感受性がみられなかったことから、区分外とした。
生殖毒性	区分2に分類されるイソプロパノールを3%以上含有することから、区分2とした。
特定標的臓器／全身毒性(単回暴露)	区分1に分類されるイソプロパノールを10%以上含有することから、区分1とした。
特定標的臓器／全身毒性(反復暴露)	区分2に分類されるイソプロパノールを10%以上含有することから、区分2とした。

12. 環境影響情報

水生環境急性有害性	コイ96時間LC50: 86.0 mg/L ミジンコ48時間EC50: 55.8mg/L 藻類72時間ErC50: 100mg/L
水生環境慢性有害性	急性区分3で、急速分解性および蓄積性が不明のため、区分3とした。

13. 廃棄上の注意

残余廃棄物	廃棄においては、関連法規並びに地方自治体の基準に従うこと。
汚染容器及び包装	容器は清浄にしてリサイクルするか、関連法規並びに地方自治体の基準に従って適切な処分を行う。 空容器を廃棄する場合は、内容物を完全に除去すること。

14. 輸送上の注意

国際規制 海上規制情報	IMOの規定に従う。
UNNo.	1993
Proper Shipping Name	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S
Class	3
Packaging group	II
Marine Pollutant	no
航空規制情報	ICAO/IATAの規定に従う。
UNNo.	1993
Proper Shipping Name	FLAMMABLE LIQUID, N.O.S
Class	3
Packaging group	II
国内規制	輸送に関する国内法の規定に従った容器、積載方法により輸送する。
特別安全対策	輸送に際しては、直射日光を避け、容器の破損、腐食、漏れのないように積み込み、荷崩れの防止を確実に。重量物を上積みしない。

15. 適用法令

農薬取締法

化学物質排出把握管理促進法
(PRTR法)

第1種指定化学物質
ポリ(オキシエチレン)＝アルキルエーテル:1-407
1,2,4-トリメチルベンゼン:1-296 (芳香族炭化水素)
ナフタレン:1-302 (芳香族炭化水素)

毒物及び劇物取締法
消防法
労働安全衛生法

該当なし
危険物第四類第二石油類(非水溶性液体)
イソプロパノール:
施行例別表第1危険物(引火性の物)
名称等を通知すべき有害物 政令番号494
政令別表第6の2有機溶剤中毒予防規則(第2種有機溶剤)
ナフタレン (芳香族炭化水素):
名称等を通知すべき有害物 政令番号408

16. その他の情報

財団法人 日本中毒情報センター

散布作業中や散布後に異常を感じた場合は、直ちに医師の手当てを受けてください。
処置法などで不明なことは、医師から下記に電話してお尋ねください。

中毒110番	一般市民向け	医療機関専用有料電話 (1件につき2,000円)
大阪 (365日, 24時間対応)	072-727-2499	072-726-9923
つくば (365日, 9~21時対応)	029-852-9999	029-851-9999

- 記載内容は現時点で入手できる資料、データに基づいて作成しており、新しい知見により改訂されることがあります。
- 注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合は、用途、用法に適した安全対策を実施の上、ご利用下さい。
- 記載内容は情報提供であって、保証するものではありません。